ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

2010年3月期 決算説明会

（2009年4月1日～2010年3月31日）

超薄板ガラス（薄さ50μm）

2010年4月28日

日本電気硝子株式会社

10／3期 連結決算のポイント

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

業　　績	・前期4Q底に回復 ・FPDが牽引、電子部品・ガラスファイバも復調 ・営業利益率： 30%（前期 23%）
資　　産	・総資産580億円増 　流動資産増（売上債権）、固定資産増（FPD設備） ・設備投資 930億円　減価償却費 481億円
財　　務	・有利子負債： 前期末比 △300億円 ・自己資本比率： 62%（前期末 59%）
キャッシュ・フロー	・フリーCF： ＋318億円（前期　△321億円）
配　　当	・期末6円、年間11円（前期比 1円増配）

連結損益計算書

ハイテクガラスで未来をつくる 日本電気硝子

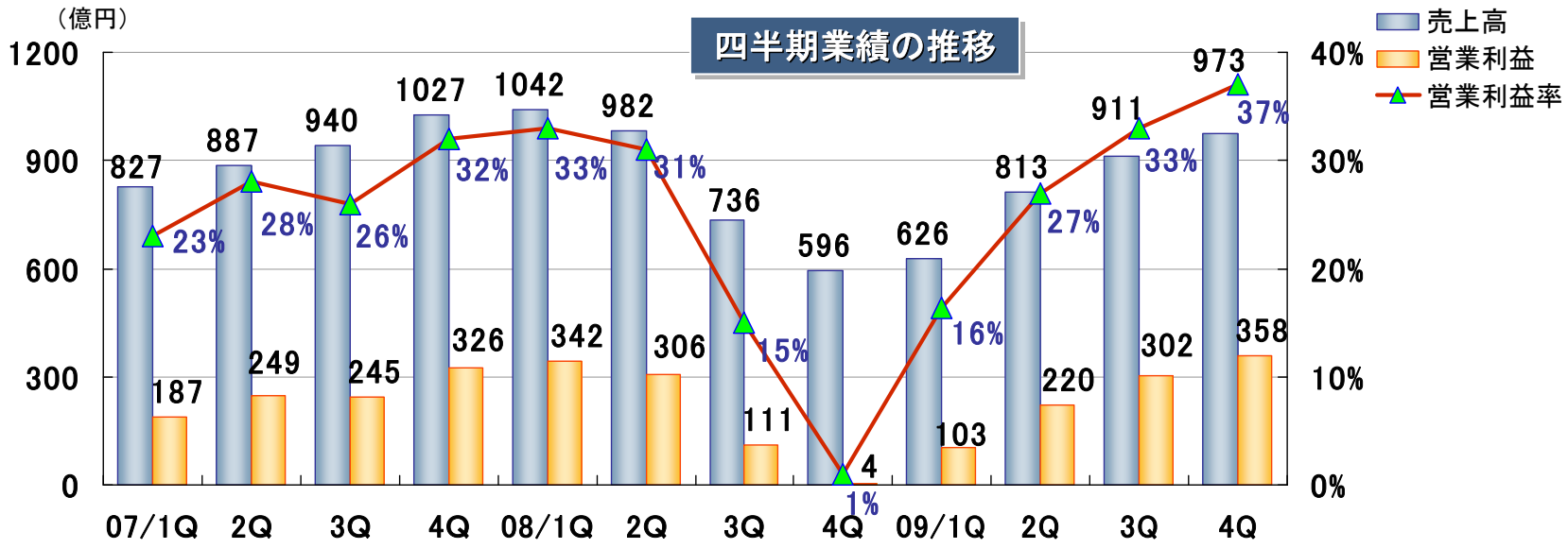
（単位：億円）

	09/3期	10/3期	増減(%)
売上高	3,356	3,323	△ 1
営業利益	764	984	29
営業外損益	△120	△70	
経常利益	643	914	42
特別損益	△237	△48	
税前利益	405	865	
法人税等	187	313	
少数株主損失	0	2	
当期純利益	218	549	152

四半期毎に改善（4Q利益は四半期ベースで過去最高）
⇒ 前期並の売上、増益

（主要因） FPD急回復
- 需給タイト
- 価格安定
- 稼動引上げ
- 生産性改善

（特損） 前期に比べ大幅減少
- 固定資産除却損　△27億円
- CRT子会社整理損 △13億円

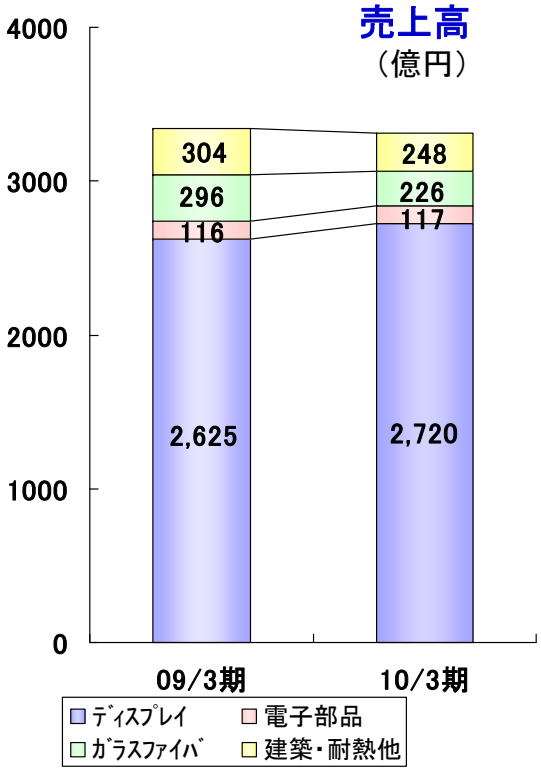


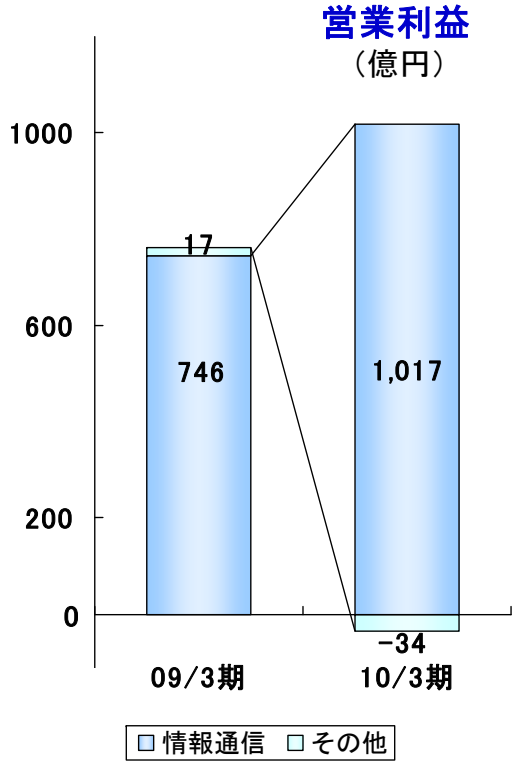
部門別の状況

ハイテクガラスで未来をつくる 日本電気硝子

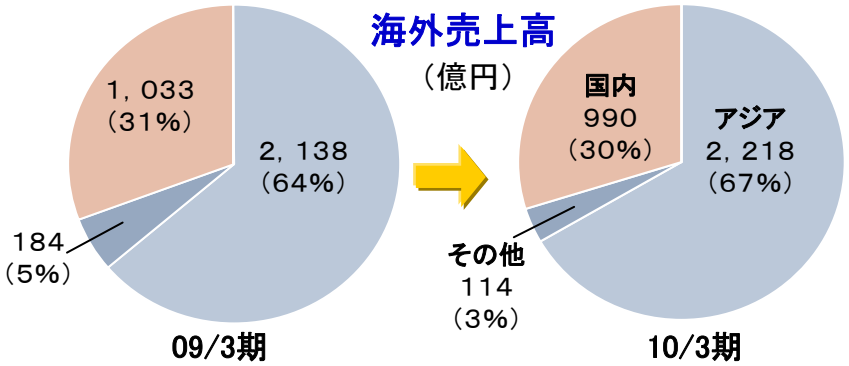
（単位：億円）

	09/3期	10/3期	増減（%）
ガラス事業	3,342	3,312	△ 1
情報・通信関連	2,741	2,837	4
ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	2,625	2,720	4
電子部品	116	117	1
その他	600	474	△ 21
ｶﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞ	296	226	△ 23
建築・耐熱他	304	248	△ 18
そ の 他	14	11	△ 22
合　計	3,356	3,323	△ 1





ディスプレイ：
　ＦＰＤ　需要急回復、販売量前期上回る
　ＣＲＴ　市場縮小
電子部品：　着実に復調
ｶﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞ：　自動車向け出荷は四半期を追って回復
建築・耐熱他：国内外の住宅・建築市場低迷



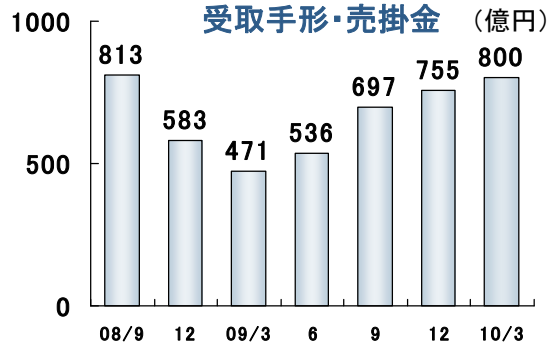
連結貸借対照表

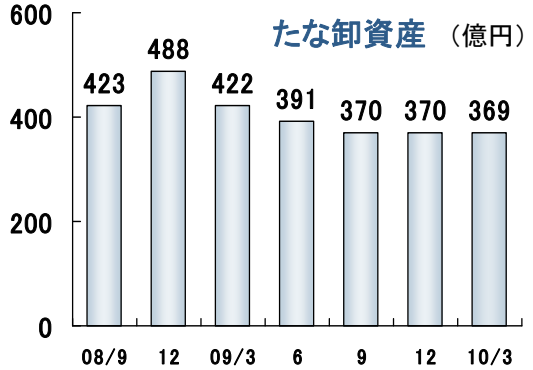
ハイテクガラスで未来をつくる 日本電気硝子

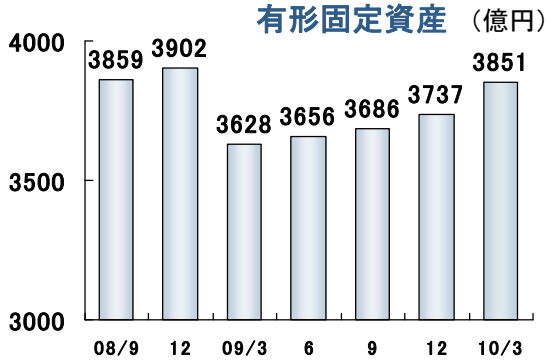
（単位：億円）

	09/3末	10/3末	増減
流動資産	2,000	2,286	285
現金・預金	966	980	13
受取手形・売掛金	471	800	328
たな卸資産	422	369	△53
その他	139	135	△3
固定資産	3,883	4,178	294
有形固定資産	3,628	3,851	223
無形固定資産	9	7	△2
投資その他	245	319	73
合計	5,884	6,464	580

	09/3末	10/3末	増減
負債	2,356	2,401	44
支払手形・買掛金	300	379	79
借入金	1,298	998	△300
未払法人税等	13	341	327
特別修繕引当金	231	268	37
その他	512	413	△99
純資産	3,527	4,063	535
株主資本	3,563	4,063	499
評価・換算差額等	△73	△39	33
少数株主持分	37	39	2
合計	5,884	6,464	580







- **流動資産**：受取手形・売掛金…販売回復
- **固定資産**：有形固定資産……設備増
  投資その他……株式市況回復
- **負　　債**：借入金……短期借入金減
  未払法人税等……所得増
- **純 資 産**：株主資本……利益剰余金増

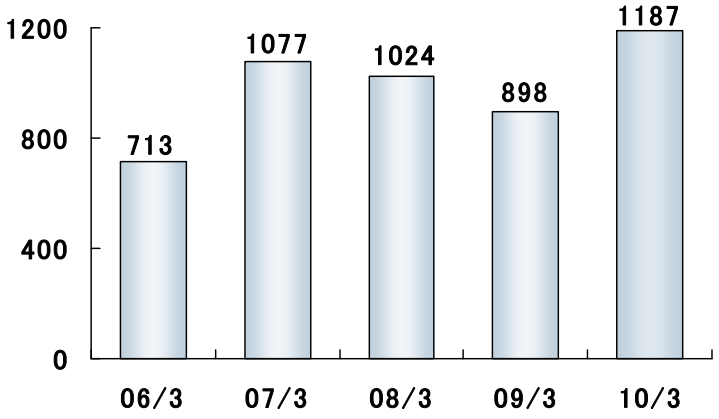
連結キャッシュフロー計算書

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

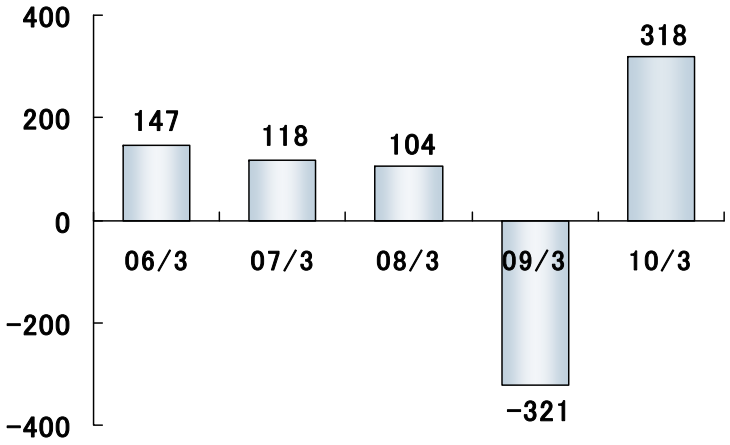
（単位：億円）

	09/3期	10/3期	増減
営業活動によるキャッシュフロー	898	1,187	288
税前利益	405	865	
減価償却費	461	481	
売上債権の増加（△）又は減少額	363	△322	
たな卸資産の増加（△）又は減少額	△45	56	
仕入債務の増加又は減少額（△）	△128	55	
法人税等の支払額	△482	△88	
その他	323	139	
投資活動によるキャッシュフロー	△1,219	△868	351
固定資産の取得による支出	△1,296	△839	
その他	76	△28	
財務活動によるキャッシュフロー	274	△351	△625
長短借入金の増減	333	△301	
配当金の支払額	△49	△49	
その他	△9	△0	
現金等に係る換算差額	△17	3	
現金等の増加額	△64	△29	34
現金等の期首残高	1,010	946	
現金等の期末残高	946	916	△29

営業CF推移 （億円）



フリーCF推移 （億円）



対処すべき課題と次期の見通し

Nippon Electric Glass

将来を見据えた取り組み

ハイテクガラスで未来をつくる 日本電気硝子

事業展開： 足下 → 中長期

既存分野

キャッシュ創出
安定した会社成長

ディスプレイ	液晶 PDP	電子部品	イメージデバイス 光関連
ｶﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞ	自動車 部品	耐熱・建築	住設、内外装 防火設備

取り組み：
- コア事業強化、バランスのとれた事業構造
- 市場の動向・ニーズに対応（生産体制、開発）
- 競争力（生産性・コスト・技術・品質）を維持・強化

＋

成長期待分野

ポスト液晶育成
持続的発展

次世代 ディスプレイ	3D ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ 有機EL	エネルギー	ソーラー 二次電池
新照明	LED LD 有機EL	医療 etc…	医療用材料 など

取り組み：
- R＆Dを積極推進
- 市場への訴求
- ディスプレイへのこだわり

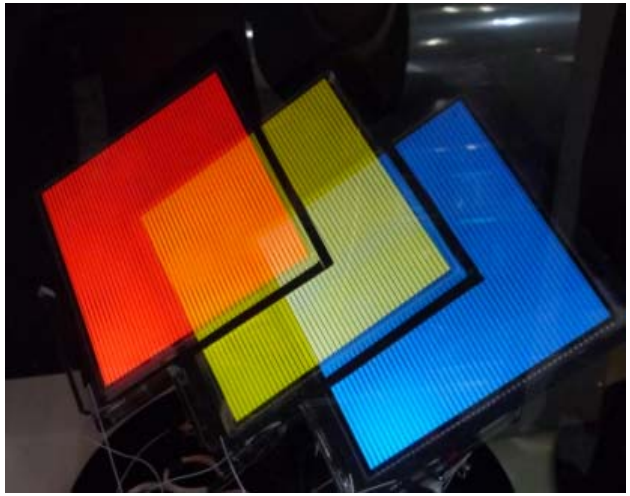
広範・多彩なコア技術： 材料設計 ＋ プロセス（溶融＋成形＋加工） ＋ 評 価

将来を見据えた取り組み

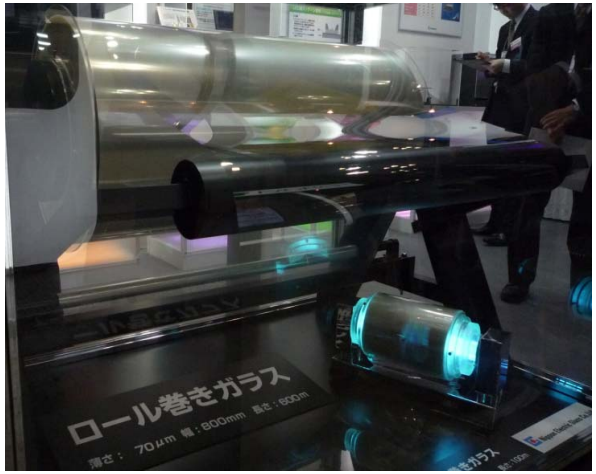
ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

R＆Dの進捗状況
（最近の出展から）

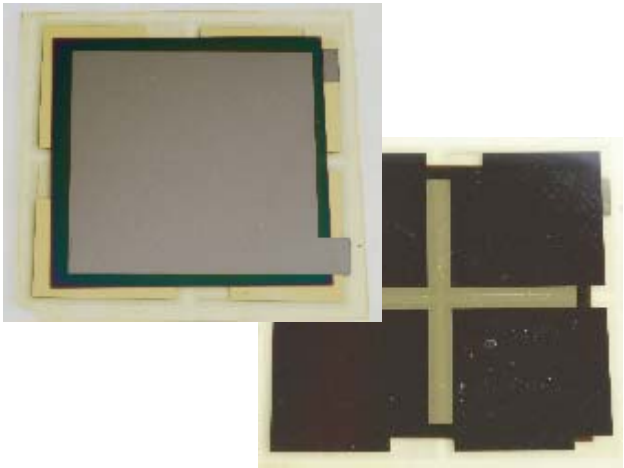
「PV EXPO 2010」や「ライティングジャパン 2010」などの展示会を通じ、新製品・新技術をPR



有機EL照明
（薄さ約100ミクロン、両面発光）



超薄板ガラス
（薄さ70ミクロン×幅800mmの600m巻きドラム）



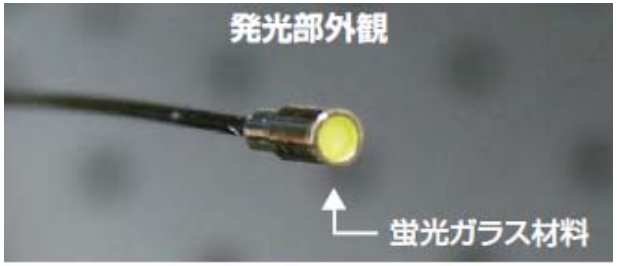
一体型複合電池
（ガラス基板上に薄膜リチウムイオン二次電池（左）と太陽電池（右）を形成。 薄さ約100ミクロン）

岩手大学、㈱アルバック、産業技術総合研究所との共同開発

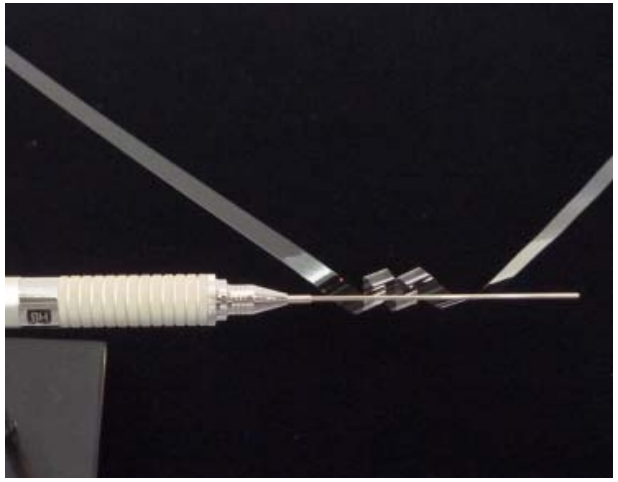
将来を見据えた取り組み

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

ハイパワーLED用
蛍光体ガラス
（写真上・右、
ドーム状のもの）



レーザー光源用
蛍光体ガラス



ガラスリボン
（薄さ5ミクロン）

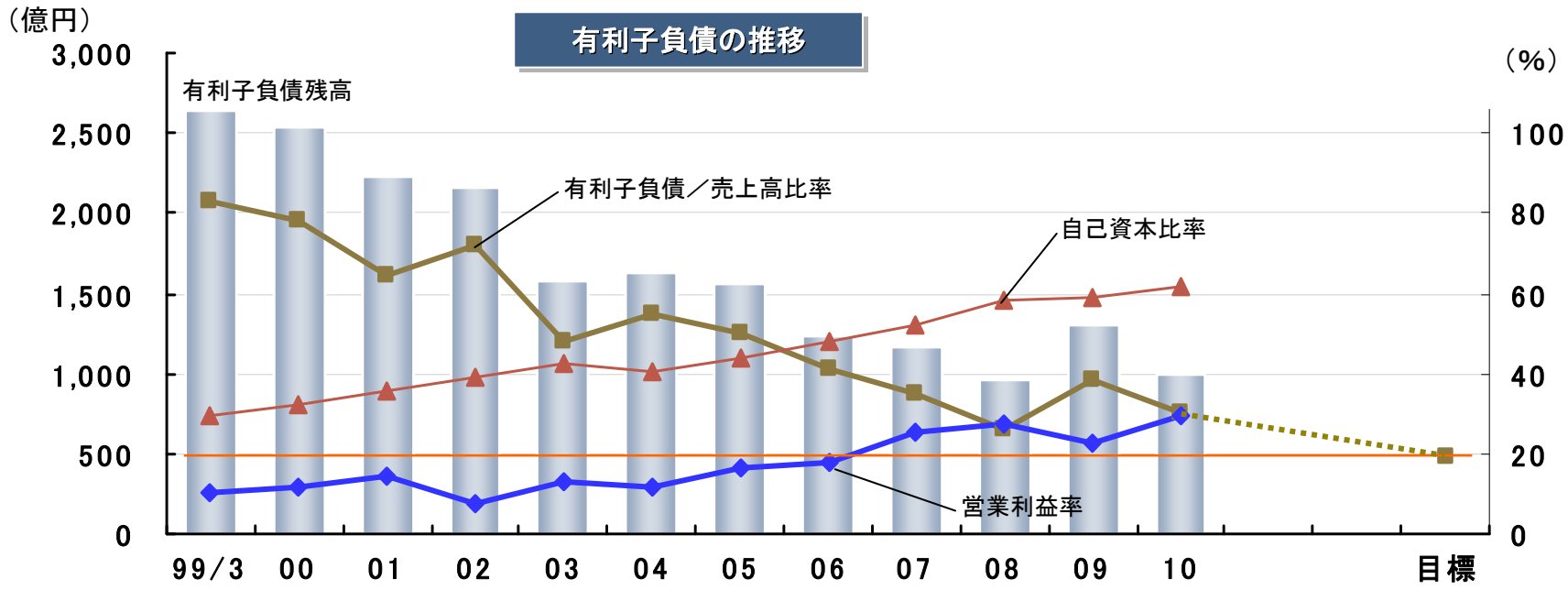
UVカットコート
（高い耐熱性、店舗
照明から陳列商品
の退色防止）

財務体質の強化

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

財務の基本方針

- 経営全般の効率化追求、キャッシュフロー重視
- タイムリーな設備投資
- 今後の資金需要を勘案しつつ、有利子負債削減を推進



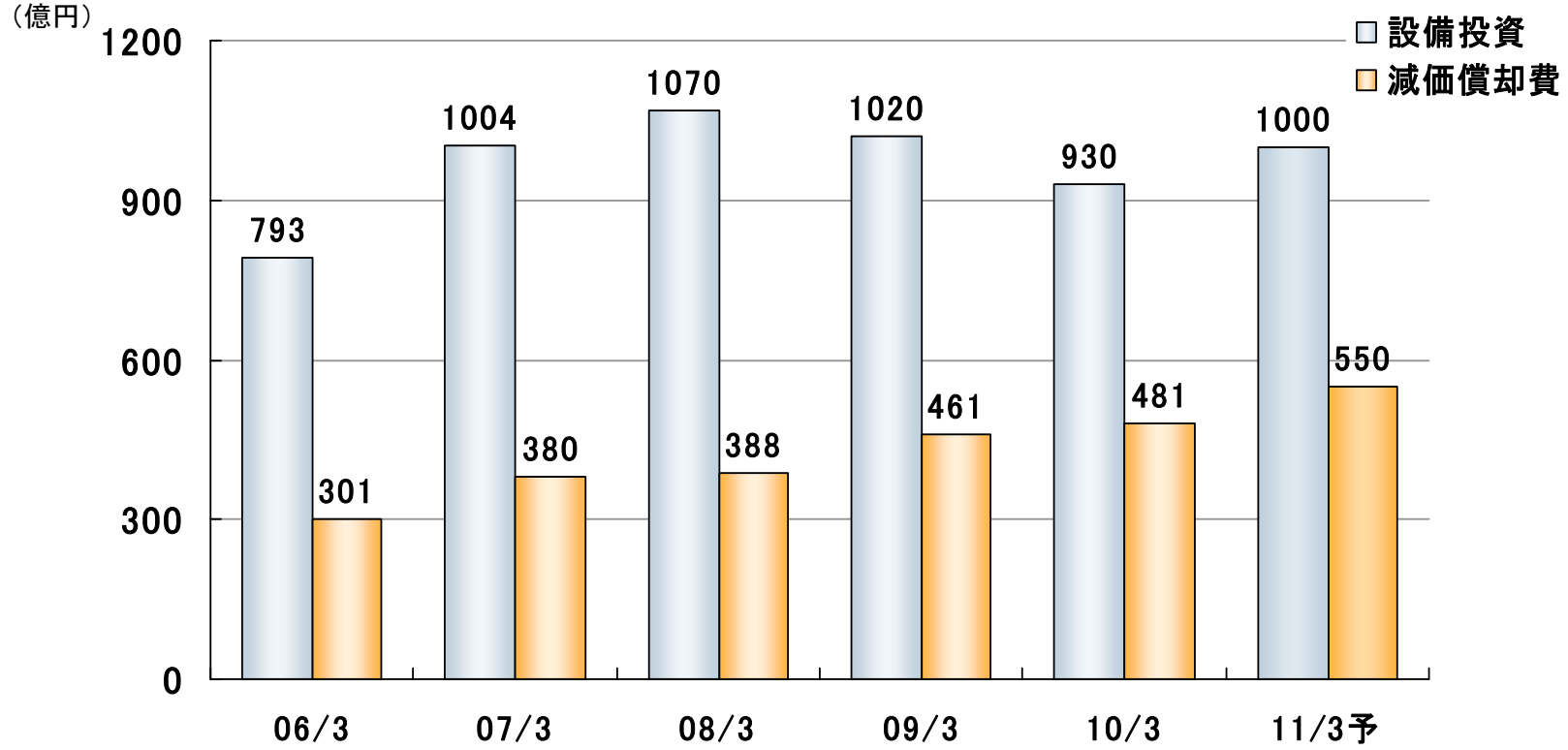
10／3期の状況：

- 有利子負債残高　998億円（09／3末比 △300億円）
- 自己資本比率　62%
- 営業利益率　30%

設備投資・減価償却の見通し

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

設備投資・減価償却費



（設備投資）
得意先業界の需要拡大に対応、戦略分野に重点投資（能力拡充、生産性改善）

（減価償却費）
高水準の設備投資に伴い増加

連結業績予想

ハイテクガラスで未来をつくる 日本電気硝子

（単位：億円）

	10／3期				11／3期（予想）
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売　上　高	626	813	911	973	1,000 ～ 1,100
営業利益	103	220	302	358	360 ～ 410
経常利益	80	214	277	342	340 ～ 390
純　利　益	8	130	213	196	210 ～ 240

国内外の情勢変化激しく、半年～1年先の予想困難

↓

四半期ベース＋レンジ形式で開示

≪1Q予想のポイント≫

- ＦＰＤ･･･4Q上回る需要見込む。新設備立ち上げに注力
- その他･･･ガラスファイバや電子部品の堅調見込む
  建築・住宅分野の回復には時間要す
- 原燃料･･･価格動向を注視

今後の日程

当Q見込 ＆ 次Q予想
（当社独自開示）

（10年）6月･9月･12月、
（11年）3月の各下旬

次Q予想
（当Q決算発表時にアップデート）

（10年）7月･10月、
（11年）1月･4月の各下旬

配当について

ハイテクガラスで未来をつくる 日本電気硝子

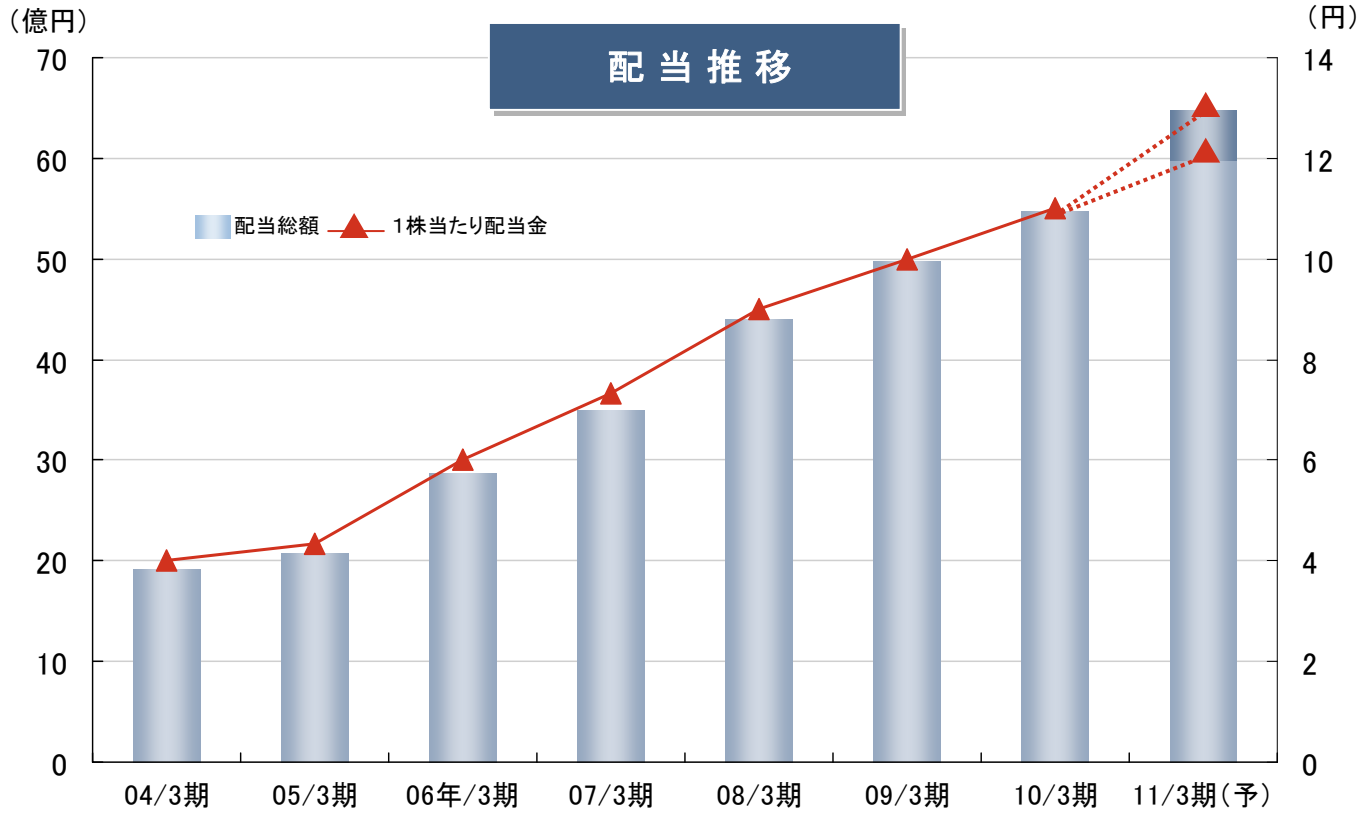
利益配分の基本方針：

内部留保（企業体質強化、将来への備え）＋長期安定の利益還元

成長投資に高水準の資金需要 ⇔ 財務状況等を踏まえつつ利益還元進める

2011年3月期配当予想：

中間配当 6円／株、期末配当6～7円／株 ⇒ 7期連続増配へ



（注）各期を比較しやすいよう株式分割による影響を遡及して調整の上記載

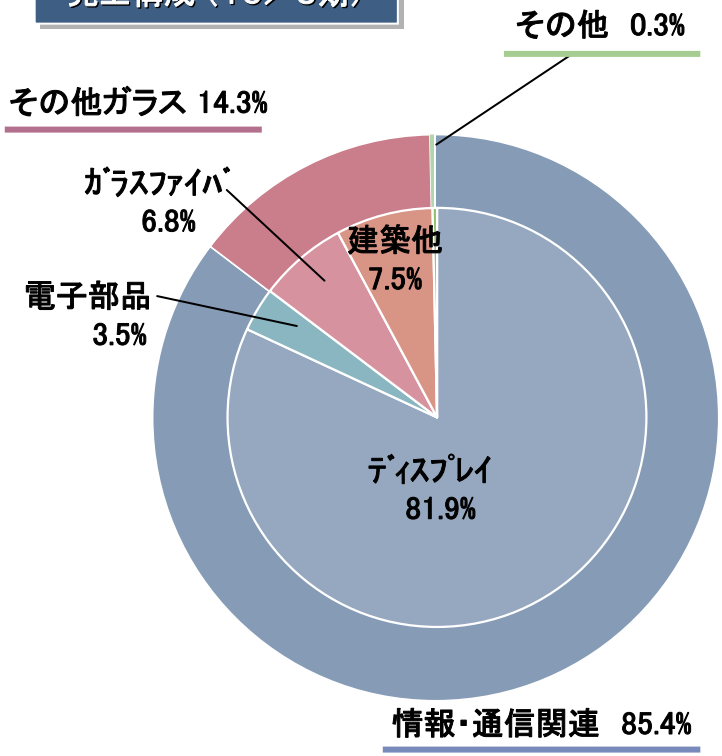
(参考)日本電気硝子の概要

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

社名	日本電気硝子株式会社
本社	大津市
創立	1949年
資本金	321億円

事業内容	特殊ガラス製品およびガラス製造機械の製造・販売
事業場	大津／藤沢／滋賀高月／能登川／若狭上中／精密ガラス加工センター
連結子会社	22社

売上構成（10／3期）

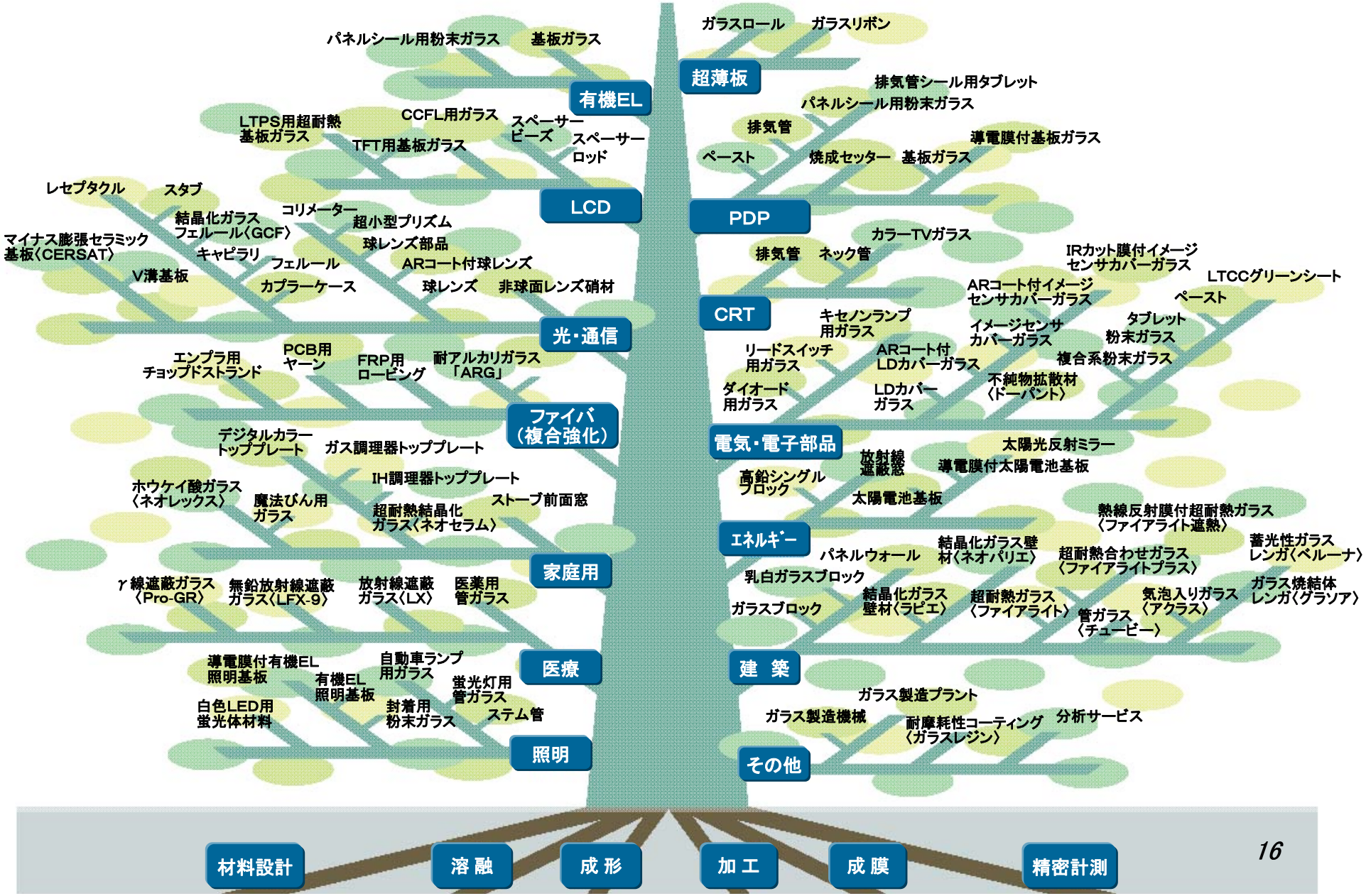


主要な事業内容

情報・通信関連	ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ用ガラス	FPD	LCD：基板ガラス、ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ用ｶﾞﾗｽ PDP：基板ガラス、ガラスペースト
		その他	ブラウン管用ガラス
	電子部品用ガラス	光関連	光ファイバ接続用ｷｬﾋﾟﾗﾘ/ﾌｪﾙｰﾙ 球ﾚﾝｽﾞ/ﾚﾝｽﾞ部品／非球面ﾚﾝｽﾞ硝材
		電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ用	粉末ガラス 板ガラス 管ガラス
その他	ガラスファイバ	ガラスファイバ	機能樹脂用チョップドストランド プリント配線基板用ヤーン 強化ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ用ﾛｰﾋﾞﾝｸﾞ 耐アルカリ性ガラスファイバ
	建築用他	建築用	ガラスブロック 結晶化ｶﾞﾗｽ建材<ﾈｵﾊﾟﾘｴ>・<ﾗﾋﾟｴ> 防火設備用ガラス<ファイアライト> 放射線遮へい用ガラス ｲﾝﾃﾘｱ/ｴｸｽﾃﾘｱ用ガラス
		耐熱用	超耐熱ガラス＜ネオセラム＞ 耐熱ガラス＜ネオレックス＞
		その他	照明用ガラス 医薬・理化学用管ガラス 魔法びん用ガラス

(参考)未来へ向かう日本電気硝子の「ガラスの樹」

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子



(参考)当社の基幹技術を応用し、新たなプロダクツを創出

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

例えば:

- オーバーフロー技術
  - 液晶基板ガラス
    - 太陽光反射ミラー
    - …
  - 超薄板ガラス
    - 有機EL
    - リチウムイオン二次電池
    - …
- フロート技術
  - PDP基板ガラス
    - 蛍光表示管
    - 太陽電池基板
    - …
- 結晶化ガラス技術
  - 調理器トッププレート
  - ディスプレイデバイス
  - LED・LD用蛍光体ｶﾞﾗｽ
  - 防火設備用ガラス
  - …
- リドロー技術
  - 光ファイバ接続部品(フェルール)
  - 光ファイバ(多数本)固定部品(V溝基板)
  - ガラスリボン
  - …

□・・・薄膜を付加し、製品を、より高機能・高付加価値化させる

予想に関する留意事項

◆ 本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。

◆ 実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。